感染症の登園の基準表

病名	潜伏期間	主要症状	登園停止期間の基準
インフルエンザ★	1～4日	高熱、頭痛、咳、全身のだるさ 筋肉や関節の痛み	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで
百日咳★	7～10日	風邪症状から始まり、特有の咳が発作的に現れる。咳き込んだ時に笛を吹くような音を立て呼吸する	特有の咳が消失するまで。 または5日間の抗菌物質製剤による治療が終わるまで
麻しん(はしか)★	8～12日	発熱、咳、鼻水の症状から咳が強くなり、結膜が充血、目やにが出る。口の中、全身に発疹。	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎★ (おたふくかぜ)	16～18日	発熱、耳下腺の腫れと痛み	耳下腺等の腫れが発現してから5日を経過し、全身状態が良くなるまで
風しん(三日はしか)★	16～18日	発熱、発疹、リンパ節の腫れ	発疹が消失するまで
水痘(みずぼうそう)★	14～16日	発疹、かゆみが強い、半～1日で水疱になる	全ての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜炎★ (プール熱)	2～14日	高熱、咽頭炎、頭痛、食欲不振、結膜炎(目やに、充血、涙が多くなる)	主な症状(発熱、咽頭発赤、眼の充血）が消失した後2日を経過するまで
流行性角結膜炎 (はやり目)	2～14日	流涙、結膜充血、目やに、耳前リンパ節に腫脹と圧痛	医師において感染の恐れがないと認められるまで
結核★	6カ月以内に多い	発熱、咳、呼吸困難、チアノーゼなど	
腸管出血性大腸菌感染症 (O-157など)	3～8日	激しい腹痛、頻回の水様便、血便 軽度の発熱	
急性出血性結膜炎★	1～3日	結膜出血	
髄膜炎菌性髄膜炎★	2～10日	高熱や皮膚や粘膜からの出血、関節炎。髄膜炎に進展すると頭痛、吐き気、首が固くなる硬直、精神状態の変化が起こる	
ＲＳウイルス感染症	4～6日	発熱、鼻汁、咳、喘鳴、呼吸困難	呼吸器症状は消失し、全身状態が良くなるまで
マイコプラズマ肺炎	2～3週間	咳、発熱、頭痛などの風邪書症状がゆっくりと進行し、咳は徐々に激しくなる	発熱や激しい咳が治まっていること
ヘルパンギーナ	3～6日	突然の高熱、咽頭痛、咽頭に水疱疹	発熱がなく(解熱後1日以上経過し)普段の食事が出来るようになるまで
手足口病	3～6日	水疱性の発疹が手、足、口に現れる	
伝染性紅斑(りんご病)	4～14日	軽い風邪症状を示した後、頬が赤くなったり、手足に網目状の紅斑が出現したりする	全身状態が良いこと
溶連菌感染症	2～5日	突然の発熱、咽頭痛を発症し、しばしば嘔吐を伴う	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
感染性胃腸炎 (ノロ・ロタウイルス等)	1～3日	吐き気、嘔吐、下痢、発熱	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事が出来るまで
突発性発疹	約10日	高熱、3～4日後に全身に鮮紅色の発疹	解熱後1日以上経過し、全身状態が良いこと
単純ヘルペス感染症	2日～2週間	歯肉口内炎、口周囲の水疱、口内痛	発熱がなく、よだれが止まり、普段の食事が出来るようになるまで
伝染性膿痂疹(とびひ)	2～10日	皮膚にかゆみの強い水疱ができ、つぶれた水疱の液がつくと、また水疱ができて全身に広がる	患部が乾燥しているか、じくじくしている部位をガーゼなどで覆うことができるまで
伝染性軟属腫(水いぼ)	2～7週間	白い光沢があり中央がややくぼんだ丸いいぼができる	

※上記の疾患は、集団で生活している場で流行することがあります。

※上記疾患の内「治癒証明書」が必要なもの(★印)は、証明書を持って登園してください。